

家計のインフレ予想の形成メカニズム：インフレ実感とインフレ経験の役割

日本銀行 開発壮平

日本銀行/カリフォルニア大学デービス校大学院生 近藤卓司

日本銀行 佐武恵梨

日本銀行 高富康介

本稿では、家計におけるその時々インフレ実感や、過去に経験したインフレの記憶が、家計のインフレ予想の形成にどのような影響を及ぼしているか、わが国の家計の短期インフレ予想に関するアンケート調査の個票データを用いて、定量分析を行った。分析にあたっては、先行研究を踏まえ、新聞報道データベースに含まれる物価関連の報道件数情報に基づき、インフレ実感やインフレ経験の代理指標を作成して活用した。分析の結果、わが国家計の世代別のインフレ経験の情報は、世代間のインフレ予想の水準の異質性を一定程度説明することが分かった。他方、短期インフレ予想の時系列的な変動については、主としてインフレ実感により説明される傾向にあることが分かった。さらに、インフレ実感を、短期的変動をとらえたサイクル成分と、長期的変動をとらえたトレンド成分に分解すると、サンプル期間中の変動の多くが、サイクル成分で説明されることが分かった。もっとも、コロナ禍以降の変動については、インフレ実感のトレンド成分やインフレ経験といった、相対的に緩やかに動く要因の寄与が大きくなっていることも分かった。これらの結果からは、家計の短期インフレ予想の動向を評価するにあたっては、どのような要因により変動しているかを検証することが重要であることが示唆される。